



2025 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 成学社
代 表 者 代表取締役社長 永井 博
(コード：2 1 7 9、東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 山本 一之
TEL. 0 6 - 6 3 7 3 - 1 5 7 1

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 15 日に公表いたしました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想値と実績値に差異が生じましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異について

(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	7,040	50	39	5	0.99
当期実績 (B)	7,066	167	159	72	13.09
増減額 (B - A)	26	117	120	67	
増減率 (%)	0.4	234.3	305.8	—	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	6,539	118	108	74	13.40

(2) 個別業績予想値と実績値との差異

	売上高	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	6,615	31	4	0.90
当期実績 (B)	6,640	110	33	5.99
増減額 (B - A)	24	78	28	
増減率 (%)	0.4	251.4	565.9	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	6,194	116	91	16.42

2. 差異の理由について

<連結業績>

売上高は、ほぼ予想値の通り推移いたしました。利益面は、人件費や教材等の仕入が予想値を下回ったこと、退職者の減少により求人広告費が抑制できたこと、等により全体の費用が予想値を下回り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに前回予想を大幅に上回る結果となりました。

<個別業績>

個別業績についても、連結業績と同様の要因による差異が生じております。

なお、2026 年 3 月期の通期業績予想については、当社グループを取り巻く今後の事業環境を鑑みて、現時点では 2025 年 5 月 15 日に公表いたしました内容に変更はありません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上